

昭和62年

5月号

No.377

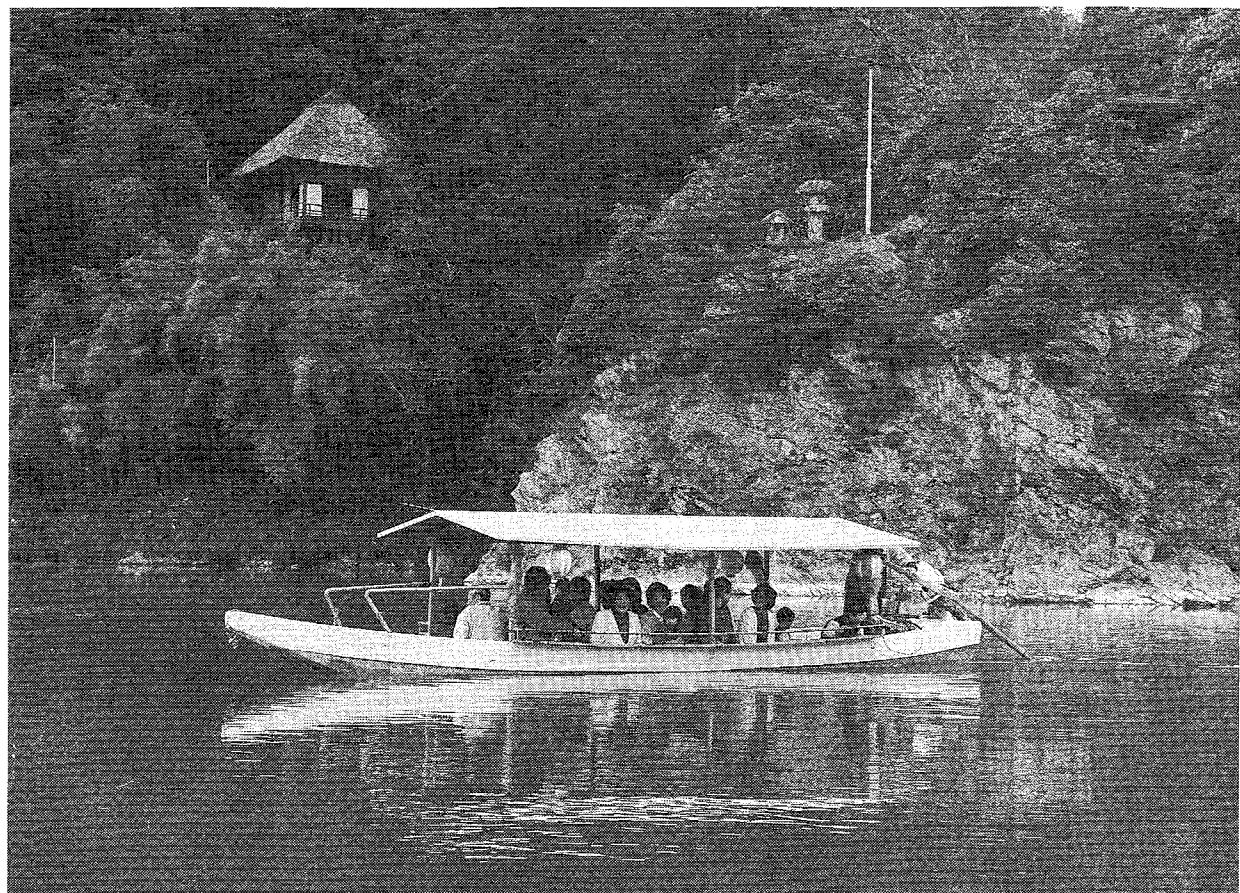
# おおす

## 市民のうごき

昭和62年3月31日現在

人口	39,718人	(△317)
男	18,952人	(△159)
女	20,766人	(△158)
世帯数	12,664人	(△83)
面積	240.93平方キロメートル	

昭和62年5月1日発行 発行 大洲市役所 編集 市長公室 〒795 大洲市大洲690-1 ☎24-2111



### 今月号の主な内容

- 第201回定例市議会 ..... 2・3P
- 大洲市の当初予算 ..... 4・5P
- 市職員の人事異動 ..... 5・6P
- 防災行政無線を整備 ..... 7P
- 地震の対策を ..... 8P
- AIDS (エイズ) ..... 8P

これだけは知っておこう 9P

- 用途地域の変更 ..... 9P
- 富士山に遊具を設置 ..... 10P

(24) 3133。  
おおす  
申込み先は、大洲市観光協会  
(24) 2664 か国民宿舎臥龍苑

### ＝肱川の風景 ④ ＝臥龍の渡し＝

この渡し舟は、昭和五十五年に始まり、柚木の如法寺河原と対岸の臥龍山荘下の河原、約三百メートルを結びます。船頭は、本町二丁目の中川恵玄さん（四十六歳）。渡し舟は、四月一日から十月三十一日まで、日曜、祝日の午前十時から午後四時まで運航、また団体予約をすれば、平日でも可。

舟は、九人乗りで料金は、片道大人五十円、小人三十円。

臥龍山荘を眺めながら、ユラユラと清流肱川を運航する『臥龍の渡し』。

# 第201回 定例市議会



第二百一回大洲市議会定例会は、三月五日から十四日まで十日間の会期で開かれました。

今回は、昭和六十一年度補正予算七件、条例制定二件、条例改正十三件、条例廃止一件、人事案件二件、その他二件の計四十一件が提出され、議案については、それぞれ原案のとおり可決されました。

政対策を進めてきました。  
しかし、国、地方を通じて財政  
は赤字基調であり、円高不況の影  
響を受けて税収入は減収、財政事  
情は深刻な状況となっています。  
また高齢化社会の進行、国際化  
情報化など社会経済情勢も複雑に  
なつており、歴史的な変革を迫ら  
れている状態です。

このような時にこそ、主体性を  
持つて時代を見極め、積極的に対  
処することが必要であり、相観待  
治、かたよった判断にならないよ

田高が急遽に進行する中、日本は、諸外国から貿易収支の不均衡を正を強く求められています。今、日本経済はこれまでの輸出産業主導型から内需産業主導型へと変革を迫られています。このような国際的な緊張の高まりの中で、国は内需の拡大を図る

昭和六十二年度の各会計予算案  
市政の進むべき方向と施策の大綱  
を説明いたします。

大洲市長  
近田宣秋

## 重点施策

ではなく、新しい選択と創造性のもとに、着実かつ効果的な対処をしなければならないと痛感しています。

みなさんの温かいご理解とご支援をお願いいたします。

私は、今までの単なる延長線上  
う広く見極めながらその調和を図  
ることが大切です。

私は中長期的展望のもと貢  
献の重点的かつ効率的執行に努め  
課題実現のため、最善を尽くしま  
す。

## 第四 生活環境の整備と住みよい まちづくりの推進

## 第五 健康を守る運動の展開と市 民福祉の充実

昭和六十一年度は、次の六つの事項を柱に重点施策を積極的に推進します。

第一 効率的な行財政の運用と施策の重点的推進

第二 広域的視野に立った行政の展開と拠点都市機能の充実

第三 地域産業の活性化対策の推進

明いたします  
当初予算案については、国、県  
の補助事業など財源の不確定なも  
のは、次期以降に予算措置をする  
こととし、骨格的予算（注参照）  
として編成しました。  
以上の方針によつて、当初予算  
は、  
一般会計 七十七億四千万円

# 総合体育館建設に着手

施政方針

## 第六 教育の充実と地域文化の振興

## 条例関係

収入役 五十万九千円

員の旅費改正に準じてこの条例の一部を改正したもの。

## ▼大洲市農業集落排水事業に係る分担金徴収条例

八多喜地区農業集落排水事業に必要な経費について、受益者からの分担金徴収を定めたものです。

## ▼大洲市都市計画特別工業地区建築条例

工業専用地域を廃止し、特別工業地区を設定することにより特別工業地区における土地利用の適正化、効率化を図るため、建築物の制限、禁止を行い、環境の保全を図るもの。

## ▼大洲市報酬及び費用弁償等支給条例の一部改正

一般職員の給与、他の地方公共団体の実情を考慮して議員などの報酬、旅費の日当などが次のように改正されました。

## 改正

議会議長三十五万円、議員副議長二十八万四千円、議会議員二十五万九千円

## 改正

議会議長、副議長、議員が一千二百円、監査委員、区長会長、公民館長などは千九百円

## ▼特別職員の給与及びその他

一般職員の給与、他の地方公共団体の実情を考慮して、特別職の給付に関する条例の一部改正

## 改正

議員は、次の人です。(再)

## ▼大洲市消防団条例の一部改正

消防団の機構改革、また一般職

## 給料月額

市長 七十六万八千円  
助役 五十八万七千円

## 牛貸付事業基金条例の廃止

愛媛県高齢者生きがい対策肉用飼育事業が完了するため、この条例を廃止したものです。

## 解説

## 昭和62年度の重点施策

## ▼効率的な行財政の運用と施策の重点的推進

健全財政を堅持しながら、行政事務の簡素合理化に努め、O

A化の推進、情報活動の強化を図ります。

## ▼広域的視野に立った行政の展開と拠点都市機能の充実

肱川流域総合開発については

昨年のシンポジウムでの提言をもとに、関係町村と協調して推進していきます。

## ▼生活環境の整備と住みよいまちづくりの推進

市道平地慶雲寺線並びに弁天

田野々線は、重点路線として整備を促進します。

## ▼健康を守る運動の展開と市民福祉の充実

本年度に、肱南地区第一期事業認可面積八十二ヘクタールの申請をします。

## ▼健康の充実

公共下水道整備については、

田舎町村と協力して整備を促進します。

## ▼地域産業の活性化対策

アグリトピア構想、五郎地区

の特定河岸地水害対策事業、嵩

富川改修事業なども積極的に推進します。

## ▼教育の充実と地域文化の振興

学校教育については、教職員

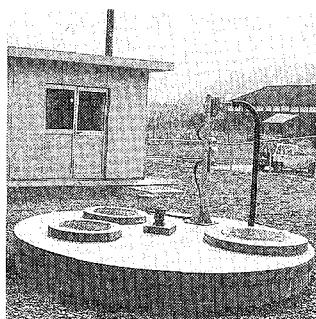
の研究活動を充実して資質の向

上を図り、児童、生徒の豊かな

人間性を育成します。

## ▼健康の充実

また、平野公民館の整備、総合体育館建設に着手します。



▲池田簡易水道施設

## 人事案件

## ▼大洲市国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険法の一部改正に伴い、この条例の一部を改正したものです。

## ▼大洲市交通安全対策会議条例の一部改正

日本国有鉄道改革法等国鉄関連法の公布に伴い、この条例を一部改正したものです。

## ▼大洲市簡易水道使用条例の一部改正

池田簡易水道設置に伴い、この条例の一部を改正したものです。

## ▼大洲市消防団条例の一部改正

三月三十一日をもって任期満了となるため、後任委員の選任について議会の同意を求めたものです。

## ▼大洲市簡易水道使用条例の一部改正

檜田勝美委員が、昭和六十二年三月三十一日をもって任期満了となるので、後任委員の選任について議会の同意を求めたものです。新しい委員は次のとおりです。

◎吉田利男（大洲、七十歳）再選

◎熊野良一（春賀、六十七歳）新選

## ▼固定資産評価審査委員会委員の選任について

富川改修事業なども積極的に推進します。

## ▼地域産業の活性化対策

工場の誘致促進については、昭和六十一年度に奨励措置の充実を図りましたが、今年度はさ

## ▼健康の充実

保健センターを中心として保

## ▼教育の充実

健指導、疾病予防運動を展開します。また老人福祉活動に一層

## ▼健康の充実

力をいれてきます。

## ▼地域産業の活性化対策

アグリトピア構想、五郎地区

の特定河岸地水害対策事業、嵩

富川改修事業なども積極的に推進します。

## ▼健康の充実

学校教育については、教職員

の研究活動を充実して資質の向

上を図り、児童、生徒の豊かな

人間性を育成します。

## ▼健康の充実

また、平野公民館の整備、総

## 合体育館建設に着手します。

# 骨格的予算を編成

## 一般会計（当初予算の規模）

58年度	75億1,500万円
59年度	75億7,800万円
60年度	72億9,000万円
61年度	77億2,000万円
62年度	77億4,000万円

## 一般会計

77億4,000万円

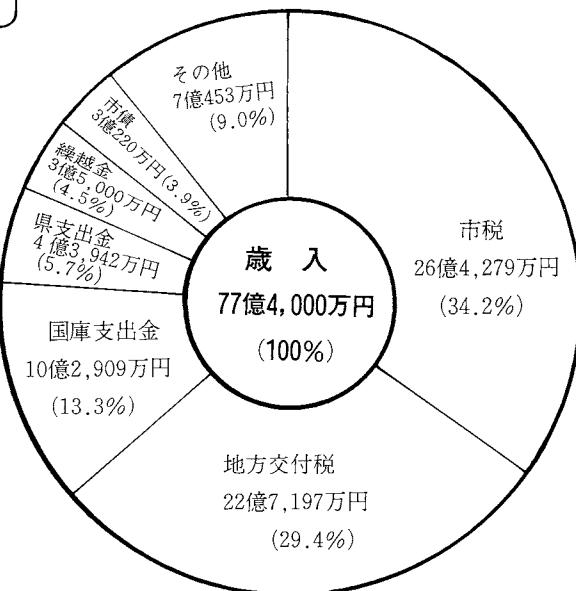
一般会計の歳入予算額は、七十億四千万円（円グラフ参照）です。このうち自主財源（市税、繰越金、分担金および負担金、使用料、手数料など）は、三十四億九千七百八十三万円で、四五・二%を占めています。また、依存財源（地方交付税、国庫支出金、県支出金、市債など）は四十二億四千二百十七万円であり、歳入に占める割合は、五四・八%です。

歳  
入

前年と比べてみると、市税（市電気税、軽自動車税など）については、前年比八・三%（約三億四千万円）の減になっています。しかし、地方交付税が、前年比一七・九%（約三億四千万円）の増、国庫支出金は四・七%減（約五千円）減少となつて、一般会計の歳入全体としては、前年比〇・三%（二千万円）の増となっています。

歳  
出

## 一般会計歳入



# 昭和62年度当初予算

## 総額 145億7,429万円

大洲市の昭和62年度当初予算は、一般会計、特別会計、企業会計を合わせ総額145億7,429万円になります。前年度に比べ、1億7,225万円、1.2%の減です。

内訳は、次のとおりです。

一般会計 77億4,000万円(前年比0.3%増)  
特別会計 49億4,364万円(前年比2.6%減)  
企業会計 18億9,065万円(前年比3.1%減)

日本は、諸外国から貿易収支の不均衡は正を強く求められ、内需拡大のため、財政対策を進めてきました。しかし、財政は国・地方を通じて赤字基調であり、円高不況の影響を受けて税収入は減収、ますます財政事情は深刻になってきています。現在の社会経済情勢では、厳しい地方行財政運営を余儀なくされることは、必至です。

国、地方の厳しい財政の現状を踏まえ、当初予算案においては、一部を除く国、県の補助事業など財源の不確定なものについては、次期以降に予算措置をすることとし、当初予算案は、骨格的の予算として編成しました。

▼新農業構造改善事業費補助金  
(新谷地区同報無線) 千七百二十八万円。  
▼農村総合整備モデル事業 (農道31号線改良工事) 四千六百三十六万円。

▼農村基盤総合整備事業 五千三十八万円 (ほ場整備、農道舗装)。  
▼商工費  
▼家族旅行村関係経費 千二十四万円 (地形測量など)。  
▼土木費  
▼道路橋りょう総務費 道路台帳整備委託料に四千三百五十万円。

▼道路維持費 道路維持原材料費に五百万円、同修繕工事費に一千円。臨時地方道整備事業に六千万円。県工事負担金 (道路分) に三千三百万元。

▼橋りょう新設改良費 本久橋、下松尾橋橋りょう新設改良事業負担金に合わせて二千万円。都市下水路費 新町地区下排水事業に千二百万円。市単独下排水事業に七百五十万円。

▼消防費  
▼大川分団第一部消防車庫及び詰所新築事業費 四百十五万円。  
▼教育費  
▼市防災行政無線設施整備事業負担金に三百八十八万円。

▼小学校備品購入費 八百二万円  
▼中学校 メンバーパーク整備工事に一千円。▼大洲停車場南線整備事業 (地方道路整備、街路事業) 一億九千八百八十五万円。  
▼住宅建設費 公営住宅堀の内団地建設事業 (昭和61~62年度) に一億四百五万円。

▼図書館用備品 (図書) 購入費 三百七十万円。  
▼学級講座費 四百九万円 (青年学級、生涯学習講座、PT)。

▼市同和教育研究協議会補助金 八百三十九万円。  
▼総合体育館設計、地質調査委託 料 千八百八十万円。

▼農業集落排水事業特別会計 一千五万円。  
▼簡易水道特別会計 森山簡易水道整備事業に千七百十五万円。  
▼水道事業会計 管路施設工事に一億四百七十八万円。

▼企業会計 柚木龜山送配水管布設替工事に一千五百九十万円。

### 昭和62年度大洲市当初予算

会計別	当初予算	対前年増減比
一般会計	77億4,000万円	0.3%
特別会計	国民健康保険	25億9,401万円 △12.5%
	国保診療所	3,502万円 △26.2%
	老人保健	20億4,725万円 △12.1%
	簡易水道	7,227万円 △68.4%
	と畜場	34万円 △80.7%
	交通傷害保障	784万円 2.0%
	土地取得造成	441万円 △46.1%
	住宅新築資金等貸付	6,017万円 △58.6%
企業会計	農業集落排水事業	1億2,233万円 一
	小計	49億4,364万円 △2.6%
	水道	4億5,030万円 △1.0%
	国民宿舎	1億199万円 △5.1%
	病院	13億3,056万円 △3.6%
	工業用水道	780万円 △4.5%
小計		18億9,065万円 △3.1%
合計		145億7,429万円 △1.2%

### 特別会計

### 水道事業会計

柚木龜山送配水管布設替工事に一千五百九十万円。

### 企業会計

管路施設工事に一億四百七十八万円。

推進事業に千三百五十八万円。大洲市まちづくり委員会補助金に二百八十万円。

▼道路新設改良費 平地慶雲寺線に五百万円、同修繕工事費に一千円。

▼大洲停車場南線整備事業 (地方道路整備、街路事業) 一億九千八百八十五万円。

▼住宅建設費 公営住宅堀の内団地建設事業 (昭和61~62年度) に一億四百五万円。

▼図書館用備品 (図書) 購入費 三十万円。

▼花と緑の都市モデル事業費に五百万円、同修繕工事費に一千円。

▼大洲停車場南線整備事業 (地方道路整備、街路事業) 一億九千八百八十五万円。

▼小学校備品購入費 八百二万円

▼国民健康保険特別会計 九十九万円。老人保健拠出金に七億九十九万円。

▼道路維持費 道路維持原材料費に五百万円、同修繕工事費に一千円。

▼大洲停車場南線整備事業 (地方道路整備、街路事業) 一億九千八百八十五万円。

▼中学校 メンバーパーク整備工事に五百三十二万円。

▼国民健康保険特別会計 九十九万円。老人保健拠出金に七億九十九万円。

▼花と緑の都市モデル事業費に五百万円、同修繕工事費に一千円。

▼大洲停車場南線整備事業 (地方道路整備、街路事業) 一億九千八百八十五万円。

▼小学校備品購入費 八百二万円

▼国民健康保険特別会計 九十九万円。老人保健拠出金に七億九十九万円。

OA化  
推進のため

## 電算係を新設

## 昭和62年度 市職員の人事異動

大洲市は、四月一日付で百二十人の人事異動を発令しました。

今回の異動の基本方針は、次のとおりです。

- 昭和六十二年度の施政方針と重点施策に対する人材を配置
- 適材適所主義の原則に立って、人材を抜擢（ばつてき）登用
- 機構など

▼部長職の交替により、各部門の交流を進める。

▼行政事務のOA化を進めるため、総務部総務財政課に電算係を新設し、具体的に取り組む。

▼主要事業を強力に推進するため、都市整備課に若手の人材を増員した。また、福祉事業推進のため、福祉事務所に一人増員した。

異動した人は、次のとおりです。  
○は昇任者、（）は旧任

▼部長

総務部長 河野瑞雄（産業経済部長）▼産業経済部長 中野公二（建設部長）▼建設部長 吉川徳行（大洲病院事務長）▼大洲病院事務長 橋田輝雄（総務財政課長）

▼課長・主幹

総務課長 富永祐（都市整備課長）▼保険衛生課長 二宮忠

▼専門員

総務財政課事務専門員兼文書係長 兼交通安全係長 矢野宇（市長）

農事務専門員兼業務係長 □農

（主事など）

## 本庁関係

部長

課長補佐

係長

主査

監査

▼医局長兼内科第一部長○寺岡賢治（内科第一部長）  
▼総婦長○新武子（総婦長代理兼婦長）▼副総婦長兼外来担当婦長  
○大野ツヤ子（婦長）▼婦長○谷

久保田三郎一（酒井園）▼林教輔  
**体育課** 栗田浩治（都市整備課）  
**▼平野連絡所** 谷本加代（上須戒連絡所）  
**連絡所** ▼上須戒連絡所 白石恒子（保健センター）▼中央公民館  
**菊池章**（大洲学園）  
**【その他】**

▼総務財政課 新野武男（農業開  
発課）▼総務財政課 平田隆志  
(税務課)▼税務課 福岡稔（市  
民課）▼市民課 中岡透至（徳森児  
童センター）▼福祉事務所 藤田  
照子（大洲病院）▼徳森児童セン  
ター 久保明敬（社会教育本部育課

保育所

新規採用

▼新谷保育所 浅野小寿枝（肱北保育所）▼三善保育所 伊達とも子（大洲保育所）▼三善保育所 村上玲子（大洲学園）▼粟津保育所 増岡典子（三善保育所）▼上野保育所 谷本絹子（喜多保育所）

市では、かねてから大洲市農協の農事用同報無線と市防災行政無線の一元化を進めてきました。昭和六十一年度事業としては、既存施設（平野・南久米・菅田・大川・柳沢地区）の周波数変更並

びに市役所親局、富士山中継局の設置及び新谷地区の整備を行い、四月一日から供用開始しました。これによつて、今まで大洲市農協から放送していたもののほか、市役所から、市の行事、催し物な

四月から放送開始

## 防災行政無線を整備

▼総務財政課 ▼好治▼税務課  
福居長幸▼市民課 西尾幸枝▼福  
祉事務所 村上司▼農業土木課  
窪田敬▼建設課 門多広樹▼都市  
整備課 楠野修▼大洲学園 湯川  
敏子▼大洲学園 山下美紀▼大洲  
学園 村上昭一▼徳森保育所 太  
藤治美▼柳沢保育所 富永和美  
▼新谷保育所 中井順子▼大洲病院  
院 岩井由美子▼大洲病院 谷川  
博美

A black and white photograph of a person with short hair, wearing a striped shirt, sitting at a desk and working on a vintage electronic device, likely a synthesizer or control panel. The device has various knobs, buttons, and a small screen. The background is a plain wall.

特に災害時には、県の防災行政無線と合わせて、正確で迅速な災害情報の提供、避難、復旧活動の指令を市民のみなさんに伝達することができました。なお、まだ整備されていない三善、八多喜、上須戒、旧大洲地区については、昭和六十二年度以降、順次整備していく計画です。

## あんま・マッサージを 利用するみなさんへ

施術所（はり、きゅう、あんま、マッサージ）を開設した者は、法律によって保健所に届け出をすることになっています。またその治療をする者は、免許を有していないければなりません。

施術所を利用するまでは  
まず免許を持っている者が  
治療しているかを確認する  
ようにしましよう。

確認することが困難など  
きは、遠慮なく大洲保健所  
へお問い合わせください。

24 3165

☎ (24) 3165

▼喜多保育所 山本美恵子（南久所）  
米保育所 ▼徳森保育所 深井多恵子（上須戒保育所）  
西山正千江（大洲学園）▼南久保育所  
▼南久米保育所 池田秀美（喜多保育所）  
保育所 ▼菅田保育所 矢畠恵美子（徳森保育所）  
保育所 ▼大成保育所 亀井ひとみ（大洲保育所）  
柳沢保育所 三井喜美（新谷保育所）

▼栗津保育所主任保母○石山幸子  
（大洲保育所）▼大洲保育所富永治代（栗津保育所）▼大洲保育所入野圭子（徳森保育所）▼喜所

本珪子（副婦長）▼婦長○浜本清  
香（副婦長）▼副婦長○佐々木智  
子（技師）▼副婦長○片倉千津子  
（技師）▼検査第二係長○永原重  
子（主査）▼薬局第二係長○袖岡  
茂徳（主査）

大洲病院

退職者

— 7 —



エイズは、食器、飲み物、トイレ、風呂、手すりなどからうつることはありません。

## 予防方法

検査・相談窓口

五月は、「赤十字運動月間」として、社員増強、社資募集運動を実施いたします。赤十字運動の趣旨を、ご理解いただきまして、ご支援、ご協力をお願いします。

①指定区域は、東大洲の工業地域三十・四ヘクタールの区域を指定

②特別工業地区指定の内容については、大洲市都市計画特別工業地区建築条例により、専用住宅及び遊戯施設、医療施設、著しく公害を発生させる可能性がある企業などを除き、立地可能となる。

## 五月は 赤十字運動月間

### 変更のあった用途地域 (一部)

種類	面積 (ha)	
	変更前	変更後
住居地域	125.9	130.7
商業地域	29.5	35.9
工業地域	—	30.4

訂正

先月(四月)号の五ページで老人保健法改正の中で、外来の場合の負担金を一日八百円としていましたが、一月八百円と訂正しておわびいたします。(入院の場合は、日額四百円、外来は一月八百円)



AIDS(エイズ)は、生きていくためにどうしても必要な体の抵抗力が壊されてしまう恐ろしい病気です。

エイズ患者は、一九八一年に米国で初めて発見されから、世界中でどんどん増え続けています。今世紀末までに、ほぼ一億人がエイズで死ぬ可能性があるといわれています。エイズを予防するために、次のようなことに注意してください。

エイズは、食器、飲み物、トイレ、風呂、手すりなどからうつることはありません。

▼不特定の相手(男性でも女性でも)との性的接触は避けましょう。

▼カミソリや歯ブラシ、クシなど血液がつきやすい日用品は、自分専用にしましょう。

▼注射針など血液がついているかもしれないものには、触らないようにしましょう。

※血液が、ヒフや粘膜についただけではうつりません。ヒフや粘膜に傷がついている場合に危険なだけですから、あまりピクピクすることはできません。

性接觸の場合で、傷ついたヒフや粘膜にウイルスを持っている人の血液や精液がつくことでうつります。

ズウイルスが体の中にはいった証拠になる物質があるかどうかを拋します。感染後、約八週たてば血液検査(抗体検査)で判定可能です。

詳しく述べは大洲保健所(24)3165か八幡浜中央保健所(0894)224111内線225へ



## 特別工業地区決定 のお知らせ

大洲市の用途地域については、昭和五十年八月二十日付をもつて面積三百三十六ヘクタールが決定しています。

その後、都市計画区域の拡大とともに、大洲バイパス、嵩富川改修、街路事業などを実施していますが、用途地域について昭和六十二年三月十六日、次のように変更されました。

用途地域とは、土地利用を秩序づけ、良好な環境を確保するため都市計画法によつて定められているもので、住居地域、商業地域、工業地域などの八種類があります。

主な変更の内容

①柚木北只地区土地区画整理事業の施行区域内を住居地域に指定

②既指定の第一種住居専用地域における隣地境界線からの後退規制

一・五尺の削除

③三笠通り国道56号東側など住居地域の一部を商業地域に変更

④東大洲の工業専用地域三十・四ヘクタールについては、工業地域に変更するとともに、次のように特別工業地区を指定

用途地域では、建築物の高さ、建ぺい率などの制限がされます。



訪問 奥さん

No.71

虫の多さにビックリ

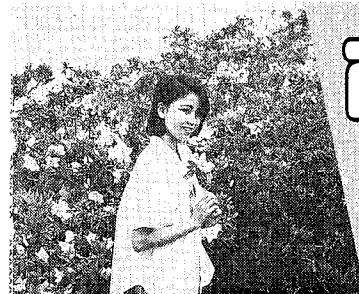
八多喜 久保留美子さん（29歳）

▼北海道の札幌市で生まれました。主人（徳一さん）とは、私が札幌の旅行代理店に勤めていて、主人がお客様としてきたのがきっかけで知り合いました。

▼大洲には、昭和六十年五月に来て虫もあまり目につかないのです。

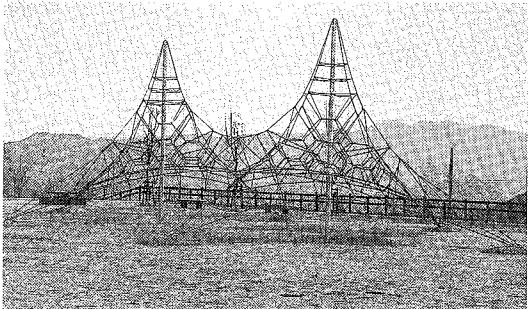
▼北海道には、ゴキブリもいなく、人間になつてほしいです。

▼志徳（一歳）は、視野の広い



市民の  
広場

▼4/25～5/15 大洲つつじまつり



つつじまつりを前に

富士山公園に遊具を設置

富士山で家族ぐるみで遊べるようになると、昨年七月に工事着工した自由広場が、三月に完成しました。

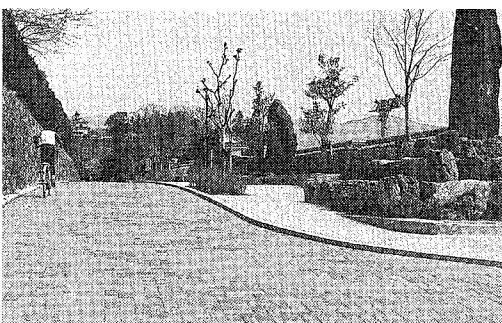
広場の面積は、四千四百平方メートルで、隣接して駐車場も整備され、事業費は五千六百八十万円。次のように遊具を備えています。

▼ザイルクライミング  
▼すべり台  
▼ブランコ  
▼クルクルパトロール  
また、ベンチやテーブルセツト、水飲み場も備えられています。

ゴールデンウイークには、十万人の人出でにぎわう富士山公園ですが、大洲は虫が多いのでびっくりしました。大きいクモやカマキリなどがいると、驚いて初めは大騒ぎしていました。

▼北海道では、半袖を着るのも二ヵ月ぐらいで、泳げるのも二週間ほどです。気候的には、こちらは四季がはつきりしていて季節感がありますね。

▼北海道には果物があまりありませんが、こちらは何でもできるんですね。



三の丸並木道も完成

ですが、子供たちの遊び場が出来てつじまつりも一層楽しんで盛り上がる期待されています。

国土庁所管の「花と緑の都市モデル地区整備事業」で、昨年九月から工事を進めていた三の丸並木道も三月に完成しました。

事業費は二千八百六十万円、長さ百十メートル、幅は車道四メートル、歩道一メートルのもので、白い築地塀、カラーブロック舗装、ベンチ、照明灯があり、近くの人も「とてもきれいになつた」と好評です。

新刊図書案内

浜田泰介水彩画集

四国八十八ヶ所靈場めぐり

戦国人名事典

阿部猛・他編

諸葛孔明

林田慎之助著

ピアトリクス・ポターの生涯

M・レイン著

現代中国の外交 A・バーネット

これが売上税だ！

山本守之著

日本人の仕事

鎌田慧著

メイドインジャパン

盛田昭夫著

誤訳される日本

B・シロニー著

社会教育の終焉

松下圭二著

心にのこる建築

藤岡通夫著

二世帯住宅のノウハウ

吉田桂一著

くらしの色えんぴつ

西村玲子著

コカ・コーラの英断と誤算

T・オリヴァー著

書の百科

近藤大鳳・他著

振り向いたら負けや

宗茂猛著

マンガ青春記

中島梓著

四季・波留子上下

五木寛之著

能を放つ

村上春樹著

彼岸花

今井美沙子著

砂の界へ

岸 恵子著

交換教授

D・ロソジ著

子供の領分

M・ユルスナール著

黒の過程

こともの読書週間

5/1～5/14

ア！いい本  
みーつけた

▼ウ飼い開幕に向けて  
ウのトレーニング

3月18日、緑地公園下の河原で夏のウ飼い開幕に向けて、ウのトレーニングが始まりました。

ウ匠の三瀬秋俊さんらが、ウ14羽を河原に連れ出すと、ウは待ちかねたように水中へ飛び込んで行きました。4月には新ウ5羽が加わり、6月1日のウ飼い開幕までトレーニングが続けられます。



▼今年も水性生物を調査

肱川をきれいにする協議会（近田宣秋会長）は、3月16日、市役所大ホールで総会を開き、昭和62年度の事業計画を決めました。

昨年に引き続いて水生生物による水質調査やポスター原画の募集をすることを決定し、その後に新田高等学校教諭桑田一男先生の講演が行われ、「肱川をきれいにするにはどうすればよいか」、関係者約50人は熱心に聞き入っていました。

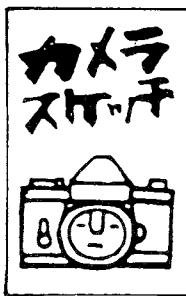


▲新しいコミュニティづくりを目指して  
大洲市コミュニティ推進大会

3月6日、市役所2階大ホールで昭和61年度大洲市コミュニティ推進大会が開かれました。

今回は、コミュニティ推進優良者として次の6人が表彰を受けました。（敬称略）

►深井英雄（久米） ►武田清繁（肱北） ►岡村進（肱北） ►都築長義（八多喜） ►旬を愛する会、代表白石成子、会員5人（肱南） ►仙味エキス（株）代表篠島一治従業員35人（平野）



▲コイ300匹を肱川に放流

大洲を津和野のようにコイの住む美しい町にと肱南まちづくり推進委員会は、3月19日、コイ300匹を城山下の肱川に放流しました。

小学校の卒業記念も兼ねて大洲小学校の6年生80人が、手に手にニシキゴイを持ち肱川にコイを放しましたが、子供たちは、コイが水中に消えてゆくのを名残り惜しそうに見守っていました。

